

Molecular Characteristics of Pancreatic Ductal Adenocarcinomas with High-Grade Pancreatic Intraepithelial Neoplasia (PanIN) Are Different from Those without High-Grade PanIN

宮崎, 哲之

<https://hdl.handle.net/2324/1928624>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（医学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）



氏 名：宮崎 哲之

論 文 名：Molecular Characteristics of Pancreatic Ductal Adenocarcinomas with High-Grade Pancreatic Intraepithelial Neoplasia (PanIN) Are Different from Those without High-Grade PanIN

(高異型度の膵上皮内腫瘍性病変を伴う膵癌と伴わない膵癌は分子生物学的特徴が異なる)

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

高異型度の膵管内腫瘍性病変(pancreatic intraepithelial neoplasia: PanIN)を背景に伴わない膵癌は伴う膵癌に比べ予後不良であると以前に我々は報告した。しかしながら高異型度 PanIN を伴う膵癌と伴わない膵癌の分子生物学的特徴の違いはこれまで検討されていない。この研究の目的は高異型度 PanIN を伴う膵癌と伴わない膵癌の分子生物学的特徴を明らかにすることである。我々は 100 例の膵癌を次の 2 群に分類した。背景に PanIN-2 か PanIN-3 を伴う膵癌(PanIN-high group, n=60)と PanIN-2、PanIN-3 のない膵癌 (PanIN-low group, n=40)に分類した。浸潤癌部の p53, p16, SMAD4 発現を免疫組織化学染色で評価した。KRAS 遺伝子変異も 80 症例で検討した。PanIN-high group と比べ PanIN-low group の浸潤癌成分では p53 高発現と SMAD4 発現欠失の割合が有意に高かった($p=0.048$, $p=0.019$)。p16 発現欠失の割合は 2 群間で有意差は認めなかった。KRAS 遺伝子野生型(wild type)の割合は PanIN-high group と比べ、PanIN-low group で高かった($p=0.024$)。高異型度 PanIN を伴わない膵癌は高異型度 PanIN を伴う膵癌と比べ分子生物学的特徴が異なることが我々の結果で示された。高異型度 PanIN を伴わない膵癌は PanIN-carcinoma シークエンスとは異なる発癌経路をとる可能性がある。